



安城市立桜井中学校  
第2学年 学年通信 3月号

## でこぼこ道のその先で

「フェラーリ」と「軽トラ」、どちらが優れていると思う？

これは、教師になりたての頃に学年主任から聞かれたことです。私は、「当然、フェラーリですよ」と答えました。

当時の私は、授業も上手くいかず、生徒指導もろくにできずに悩んでいました。そんな中、授業も上手で、生徒と真正面から向き合いながら堂々と働く先輩教師の方々。私は、あこがれを抱くと同時に、みじめさと後ろめたさを感じていました。そして、それを学年主任に相談をしたのでした。

——「小川先生の言う通り、フェラーリは広く真っすぐな道をととても速く走り抜けることができる。でもね、でこぼこ道や、入り組んだ路地では軽トラの方が断然速いよね。たくさんの荷物を運ぶにも、軽トラの方が有利だ」。そういって、学年主任は、僕の肩をポンッと叩き、こう続けました。

「中学校は、何事もなく過ぎる日の方が少ないよ。正に毎日がでこぼこ道みたいだ。けどね、そんな中、小川先生は、不器用でも一生懸命前に進んでいるじゃないか。みじめさや後ろめたさというたくさんの荷物を背負いながらさ。フェラーリと軽トラ、どちらも、かけがえのない強みをもっているんだよ」。

それ以来、私は「だれが優れているか」「どちらが優れているか」ではなく、「だれのためになるか」「どこが優れているか」が大切だと思うようになりました。私をもって生まれてきた数少ない能力を、だれのために、何のために使うか精査し、一步一步前へ進むこと。それが、私の「生きる」意味だと考えます。

さて、中学校2年生が終わろうとしています。心と身体が大きく成長する過程で、まるでフェラーリのようにかっこよく駆け抜けた瞬間がありました。しかし、とまどいと不安を抱えながら生活した日もありました。時には、そんな自分にへきえきし、心が揺さぶられたこともあったかも知れません。**だから何だ！**それは、でこぼこ道を一心に前へと進み、生きた証に他なりません。おごらず、謙虚で、誠実な2年生のみなさん。この一年間、みなさんと共に生活できたことを、私たち2年生職員は心から幸せに思っています。いつかは、みなさんのもって生まれた力で、より多くの幸せを生み出していくことになるでしょう。その日まで、歩みを止めないでいてほしいです。

保護者の方々におかれましては、これまで2年生の教育活動に対し、多分なるお力添えを賜りましたこと、深く感謝申し上げます。おかげさまで、2年生職員一同、毎日を楽しんで過ごすことができました。来年度も、変わらぬご支援のほど、よろしく願いいたします。

第2学年主任

○4月8日(水) 入学式準備 8:30~11:00

・ジャージ登校です。

持ち物…スリッパ、体育館シューズ、必要な人は軍手

○4月9日(木) 入学式・始業式 8:20~11:45

・制服登校です。女子は襟カバーを外して登校してください。

持ち物…筆記用具、雑巾2枚、スリッパ、ゴミ袋(ピンク色、黄色)各1枚

※教科書を持ち帰るので、大きいリュックを持参しましょう。





# 立志の会を終えて



立志の会を通して自分の将来や夢についてより深く考え、夢に向かって今、自分が何をすべきなのか明確になりました。MIRAI-Map では、みんなの夢を知ることができてよかったです。これまで幸せに生きてこれたのは家族やたくさんの人たちに支えられてきたからです。その人たちへの感謝を忘れず、恩返しをしたいです。風船飛ばしでは、みんなそれぞれの色をもって、みんながいるからきれいに輝けると思ったので、これからも周りの人を大切にして、自分たちの夢に向かって努力し続けたいです。

A組

僕は、立志の会第2部の劇で、闇バイター兼不審者の役を演じました。その役になりきるにはどんなセリフや行動を起こすと自然な感じになるかを友達と相談して、本番でもセリフをとばさずに演じ切ることができました。話している時は前提として、話していない時も細かくあたりを見回したり、ボスの前では大きなリアクションをしたりすることもできました。

合唱では、伸ばすところを何度も忘れてしまいましたが、本番ではしっかりと伸ばしたり、表情を意識して歌ったりすることができました。

B組

僕は立志の会の実行委員として、この会を成功させようと頑張りました。実行委員ではムービー係としてみんなが今までの人生を振り返ることができるような映像になるようにしようと考え、係の2人で協力して写真集めや、映像に入れるアニメーションなどを考えました。

合唱では、日頃の感謝の気持ちを両親に伝えることができるように、毎日練習をして全体で「いっしん」することができたと思います。

C組

“いっしん”した姿、成長した姿を保護者の方にも見せることができました。僕が一番力を入れたのは立志劇です。脚本から完成までの道のりは長く、険しく、たくさんの困難がありました。テンプレートにとらわれない“一新”したものを自分たちの手で創り上げられたのがよかったです。学年合唱では“一心”した姿を「名づけられた葉」で表現できました。立志の会を通して自分の未来に“一進”するとともに、この平和な国・日本に命を授けてくれた親に感謝を伝えたいです。

D組

将来の夢を親の前で話すことに緊張しました。みんなの将来の夢を聞くと、それぞれやりたいことやなりたいことが明確になってすごいと思いました。自分もみんなの発表を聞いて、さらに真剣に考えないといけないと思いました。劇では、立志の会を盛り上げようとする気持ちが伝わってきました。みんな恥ずかしがらずに最後までやり切っていてすごかったです。風船飛ばしでは、自分の夢を書いて空へ飛ばしました。風船が空高く上がっていくのを見て、自分の夢も風船のように、大きく広がっていけばいいなと思いました。

E組

立志の会を通して改めて自分の夢と向き合う必要な時間を過ごすことができました。MIRAI-Mapの作成を通して自分の思いを言語化することができ、自分の夢に対する気持ちなどが少し明確になったと思います。自分の夢と常日頃からの行動を振り返ってみると、十分に行動できていない部分もあることに気が付きました。夢を立てること自体が目的ではなく、それを日常の言動や行動に結びつけることがいちばん大切で意識していけないといけないことだと実感したので、これから大人になっていくけれど、日々の成長を実感し生きていきたいです。

F組

第一部は教室で Mirai - Map の発表をしました。発表する前はとても緊張しましたが、練習通りに上手く発表できたのでよかったです。第二部で印象に残ったのは、立志宣言と合唱です。立志宣言は、大きな声で真剣に宣言していてすごいなと思いました。合唱は、歌詞を間違えずに最初から最後まで歌えたのでよかったです。第三部の空に飛ばした風船はとてもきれいでした。練習や準備が大変な立志の会でしたが、思い出に残る時間になりました。

J組